

平成26年度「市長と語りあう会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
4月16日（水）	小野地区振興センター	19:00～20:05	29	4	33

○市側出席者

市長、副市長、総務部長、人口拡大課長、秘書広報課長

2 会の概要

○開会（秘書広報課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

(1) 平成25年度の主な成果（“ネットワークの構築と活用”に関連）

平成25年度は施政方針において「人口拡大への挑戦」、「財源の効率的配分」、「ネットワークの構築と活用による産業の活性化」の3つの基本指針を掲げてのぞんだ。

成果として、「ネットワークの構築と活用の観点」から

①都市交流の進展…昨年4月、高槻市（姉妹都市）、若狭町とで災害時相互応援協定締結

昨年7月、川崎市と文化、スポーツ等の交流に関する覚書締結

豊中市とは空港存続のため取組みを通して協定を結んだ。

首都圏、関西圏との交流が進むと萩石見空港の利用拡大につながる。

②中須東原遺跡の国史跡指定…益田市において3つ目の国史跡。保存と活用において、2つの共同研究が実施中

一つ目は東京大学史料編纂所と島根県古代文化センターによる御神本氏の共同研究。二つ目はそれに広島大学、島根大学、市文化財課が加わり日本海での中世の貿易についての研究

③県立大学との連携協力協定…益田市が抱える地域課題解決に向けた提案をしていただく。益田の観光資源をどう活用していくか、空港の潜在利用をいかに発掘するか等

④東京路線2便化…政策コンテストの採択における連携。県の支援、財政負担等の後押し
利用拡大協議会に対する近隣市町との連携

⑤山陰自動車道の整備促進…三隅益田間は国により大きな取り組みをしていただいている。整備促進に向けた民間団体との連携（ゆうひライン女性の会、臨空ファクトリーパーク立地企業連絡会）

⑥給食調理場の整備の進展…高津、美都それぞれ進める。これから連携をとる必要がある。地産地消や食育を進めるため、農家、食品流通業者との連携を進め、地元の振興や食育につなげる取組みを25年度からスタートした。

(2) 平成26年度の展望

①行財政改革と平成26年度予算概要…昨年12月、新たな行財政改革指針策定

地方交付税の収入減があきらかであり、収支の均衡をとるため、様々な歳出削減を行ない、平成32年度に収支の均衡を図るというもの。平成25年度～28年度にかけて集中改革期間としてより徹底した行財政改革を進めることとしている。併せて、今後大きな事業が必要であることから形骸化した財政非常事態宣言を解除した。しかし、解除したことが益田市の財政が豊かになったためではないので、これからも徹底した行財政改革を実施していく。

平成26年度予算については、日赤の建て替え、学校耐震化、本庁舎の耐震化、学校給食調理場の建設、消防の緊急無線のデジタル化、橋梁の改修、災害復旧、人口拡大のための施策など先送りできない大きな事業

があるため、予算が膨らんだ。

- ②人口拡大計画における重点課題…日本全体で人口減少が起こっているが、益田市では昭和30年代をピークに減少が起こっている。

人口が減少することにより、経済も縮小する、社会保障とくに老人福祉における支え手もいなくなる。公共事業における建設工事においてのコスト高につながっている。

そのためいろんな角度から施策を実施するための計画である。

これには「子育て世代に手厚く」「U I ターン大歓迎」「中山間地域を元気に」の3つの切り口で実施する。

新しく行なう事業と拡充する事業について4つ紹介すると、児童医療費助成・U I ターン者応援・コンベンション等誘致・学び舎ますだ

(2) 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ①小野地区での下水道整備について
- ②海岸の護岸について－1
- ③海岸の護岸について－2（②と関連質問）
- ④人口拡大計画について
- ⑤医師の派遣と婚活について
- ⑥事業の継続と市道の早期復旧について
- ⑦公共施設での禁煙と地区での介護施設設置について

○ 閉 会 （秘書広報課長）

平成26年度「市長と語りあう会」

〔会場 小野地区振興センター〕 開催日時：平成26年4月16日（水）19:00～20:05

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 小野地区での下水道整備について。 生活様式が変わってきている中で、整備が遅れている。昨年度の水害で1軒床下浸水があった。市、県の方が来られ、順番がと言われたが、平等でないといけないと思うがいかがか。</p>	<p>①下水処理については、益田市では遅れている。小野地区では、汚水については、合併浄化槽による処理について市が補助していきたい。 水路は、順番ではなくて市の財政が苦しい中、下水道整備を含む土木経費も教育、社会福祉の経費など含め、決められた予算の中でやらなければならない。本日ご意見を伺ったのでできるだけ早く対応するよう努めたい。</p>
<p>② 海岸の護岸道路について—1 昨年もお願ひしたが、波が非常に高く困っている。事故が起こる前に改修をお願ひしたい。</p>	<p>②県事業がほとんどであるため、県にもお願ひをするが、市も早急に対応したい。</p>
<p>③ 海岸の護岸道路について—2 海岸の護岸は、県管理、市の管理があると思う。 平成25年度に木部が終わったのであれば、ぜひ取組んで欲しい。</p>	<p>③本日、要望をお伺ひしたので、今後、対応するよう努めていく。</p>
<p>④ 人口拡大計画について 施策はいろいろあるが、魅力発信のために市民を巻き込んだシステムを考えているか。</p>	<p>④現在は市内部での検討であるが、今後、拡大計画のよりよい進め方を模索するためにも市民のお知恵をいただくことが大事だと思う。平成26年度での検討においても、市民のご意見をどのように反映していくかも考えていく。</p>
<p>⑤ 医師の派遣と婚活について 医師の派遣における進捗状況と人口拡大の中で、若い人で未婚の方が多い。UIターンもいるが、結婚ができるような策はないか。</p>	<p>⑤医師会と連携して、小野地域で診療できる先生を探しているが、まだ見つからない状況です。今後も引き続き、医師確保に努めたい。 自然増を図るには、結婚、出産していただくかなければならない。 結婚を進めるため、県主催の団体である「はっぴーこーでいねーたー」や商工会議所等でも婚活パーティーでの出会いの場の創出、市も男女で料理を作り仲良くなってもらう取組みなど行なっている。今後は市も積極的に介入し、信頼性を高めた取組みとしたい。</p>
<p>⑥ 事業の継続と市道の早期復旧について 希望に輝く感動の益田事業を滑自治会で実施し、1500個の水仙を購入したが、継続した事業ができるのか。 災害により、被災した市道が手つかずだが、業者不足と聞いている。市道については、早く修復していただきたい。</p>	<p>⑥事業を使って地域に花を咲かせることを実施いただき、敬意と感謝を申し上げる。 事業予算は今年度措置してないが、地域独自の活動に対し手助けするメニューがあるので利用していただきたい。 災害については、平成25年度査定が終了。今後入札し工事を実施していくことになる。近隣各地であった災害により、業者が確保しにくい状況であるとともに、公共事業単価と実勢単価が合わず、入札がまとまらない状況もある。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑦ 公共施設での禁煙と地区での介護施設設置について 小野地区振興センター敷地内の全面禁煙をお願いしたい。 人口拡大や人口を保持していくうえで、各地区に介護施設を作っていただきたい。</p>	<p>業者に利益が出るような工夫をし、請け負ってもらい、早急に完成できるよう努めていきたい。</p> <p>⑦ 地区振興センターの喫煙については、来週、地区振興センター長会議があるので、そこでお話しさせてほしい。 人口は減少しても、高齢者は増加している状況である。介護保険計画を策定し、これに載せないとすすまない。 そのためには、どれくらいニーズがあるのか長期的なスパンで調査しなければ、過剰状態になってはならない。 介護保険料の値上げも必要となるが、市民の許容範囲を見極めなければならない。</p>